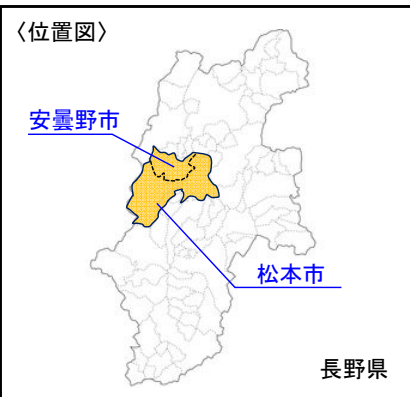


地元農業法人による取組事例(松本平の荒廃農地を白いそば畑に)〔長野県松本市・安曇野市〕

まつもと し あづみの し

1. 地域農業の状況

○ 長野県のほぼ中央に位置し、豊富な水資源と日照時間の長さや一日の気温差、冷涼な気象条件等を活かして野菜、水稻、りんご等の果樹を中心に豊かな農畜産物の生産が行われている。



○ 両市の東部、西部の中山間地域では、深刻な鳥獣被害の発生や農家の高齢化に伴う荒廃農地の増加が地域農業の大きな課題となっていた。

荒廃農地(再生前)



再生後、一面に広がるそば畑



取組の関係者



開発商品



手打そば講習会



2. 荒廃農地再生利用の取組

取組主体 (株)かまくら屋

地区名 四賀地区、三郷地区他

再生面積 25ha(経営面積84ha)

取組年次 平成21年～28年

作付作物 そば(キタワセ等)

販路 自社ブランド商品の販売、原料卸等

「松本平の荒廃農地を白いそば畑に」との熱意を持った企業が他産業から農業へ参入

○ 松本市・安曇野市の荒廃農地を再生して、そばを栽培する農業法人(株)かまくら屋は、農業の未経験者でありながら、「信州を訪れる観光客には信州産そば粉100%使用にこだわった信州そばを提供したい」、「松本平の荒廃農地を白いそば畑にしたい」との熱意から平成21年9月に設立。

○ その熱意が次第に伝わって地元農家の信頼を得られるようになり、年を追うごとに経営面積を拡大し、両市から平成24年には「認定農業者」の認定を受け、平成27年には両市の「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられる等、県内有数の農業法人に成長。

付加価値の高いそばの商品化で収益力を高め、地域の活性化にも貢献

○ 生産したそばは、乾燥調製・製粉の上、出資企業である製麺業者へ販売する一方、直売所、道の駅等への直販や地元そば屋や大手コンビニチェーンへの原料供給、6次産業化事業として自社ブランド商品の開発・販売等を実施。

○ また、福祉作業所や知的障害者福祉施設からの受け入れによる就労支援や「手刈りそば体験」を実施し、障害者の社会参画と就労支援の場を提供するなど地域等貢献活動にも取り組んでおり、このような取組が高く評価され、「第6回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業」(平成25年5月)において、農林水産大臣賞を受賞している。

活用した支援策

H21～28 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)(再生作業、土壌改良、施設等補完整備)



農林水産大臣賞